



## 県内経済 〈1月〉

### 概況

県内経済は、全体として回復の動きが足踏みしている

電子部品は前年を上回ったものの、木材が製材品で前年を下回ったほか、機械金属も低迷が続いている。建設は、住宅着工が前年を上回ったが、公共工事は前年を下回った。個人消費は全体として緩やかに回復している。雇用情勢は弱い動きとなっている。

産業別の動向では、電子部品の生産額は、情報通信技術、ハードディスクドライブ市場向けやAI関連の需要増加などから、8か月連続で前年を上回った。機械金属は、ウエイトの高い輸送機械で、国内向けが大きく落ち込み、23か月連続で前年を下回った。木材の生産量は、普通合板(12月)は13か月連続で前年を上回った。製材品は需要低迷や大雪による原材料入荷減少などから前年を下回った。公共工事請負額は、2か月ぶりに前年を下回ったが、年度累計では前年を上回った。地元大手(12社)の建設受注額は、官公庁工事、民間工事ともに

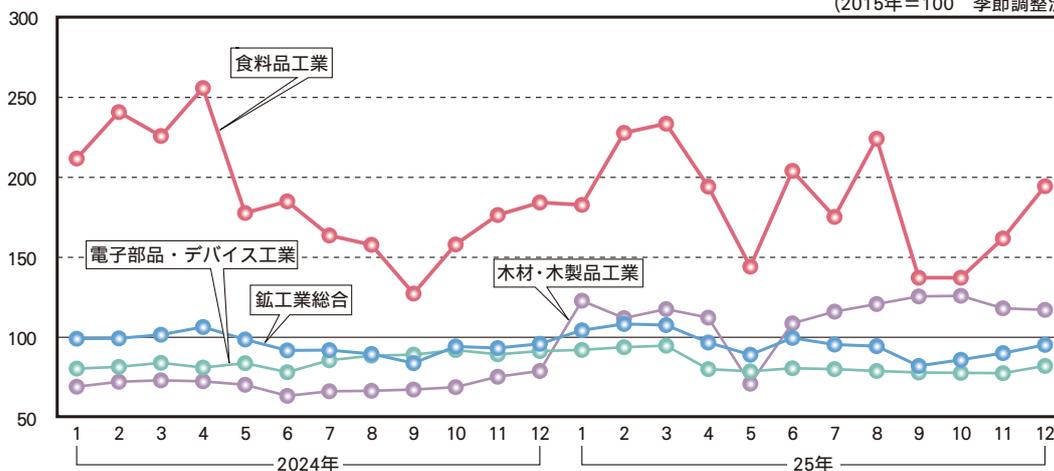
振るわず、3か月連続で前年を下回った。住宅着工は2か月ぶりに前年を上回った。個人消費は、新車乗用車販売台数が9か月連続で前年を下回ったが、小売店販売額(12月)は10か月連続で前年を上回るなど、全体として緩やかに回復している。

有効求人倍率は前月比0.03ポイント上昇の1.23倍となった。新規求人数は前年比10.2%増と2か月連続で前年を上回った。事業主都合離職者数は前年比11.4%減と4か月連続で前年を下回った。

企業倒産件数は6件、負債総額は7億9,400万円であった。

秋田県鉱工業生産指数の推移

(2015年=100 季節調整済)



資料：秋田県企画振興部調査統計課「秋田県鉱工業生産指数月報」

## 電子部品

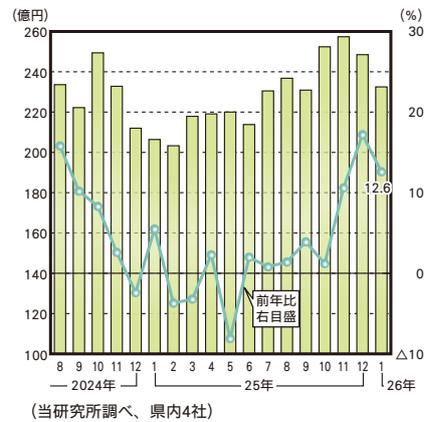
### 生産額、高水準維持

1月の生産額は前年比12.6%増となり、8か月連続で前年実績を上回った。

車載向けは電気自動車（EV）市場の低迷により減少傾向が続いているものの、情報通信技術（ICT）やハードディスクドライブ（HDD）市場が好調なことに加え、AI（人工知能）関連向けも増勢を強めていることから、総体では堅調に推移している。

その他品目別では、主力のセラミックコンデンサやコイルは増加傾向が続いている。堅調に推移していた液晶パネルは一服感がみられ、半導体素子は一進一退の動きとなっている。

電子部品の生産額推移



## 機械金属

### 生産額、23か月連続で前年比減少

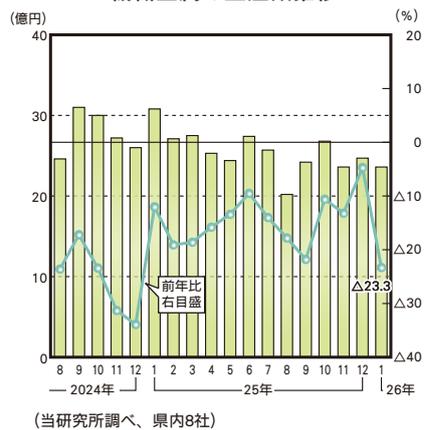
1月の生産額は前年比23.3%減となり、23か月連続で前年実績を下回った。

ウエイトの高い輸送機械は、海外向けは回復傾向にあるものの、一部メーカーの生産終了車両の影響が大きい国内向けの減少幅が大きく、総体では長らく低迷が続いている。

その他民需関連では、減少が続いていた産業機械、建機部品はいずれも底打ち感がみられ、金型は一進一退の動きが続いている。

公共工事関連では、橋梁・鉄骨、水道部品とも堅調に推移している。

機械金属の生産額推移



## 木材業

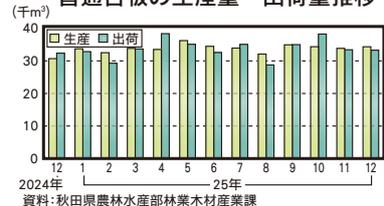
### 製材の生産・出荷が前年比減少に転じる

本県では県北の大型製材工場稼働等により製材の供給増加が続いていたが、新設住宅着工の低迷による需要不足や大雪による原材料入荷の減少、冬期休暇による稼働日数の減少等から製材の生産、出荷が減少に転じた。

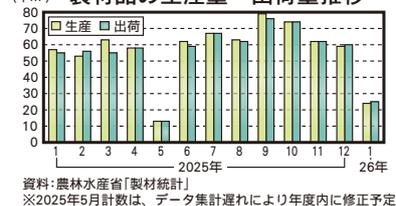
12月の普通合板は、流通段階での在庫調整が進んだことなどにより、生産量は前年比11.9%増、出荷量も同2.8%増といずれも13か月連続で前年を上回った。

1月の製材品は、需要低迷や大雪による原材料入荷減少、冬期休暇による稼働日数減少等から、生産量が前年比57.9%減、出荷量が同54.5%減と、ともに前年比減少に転じた。

普通合板の生産量・出荷量推移



製材品の生産量・出荷量推移

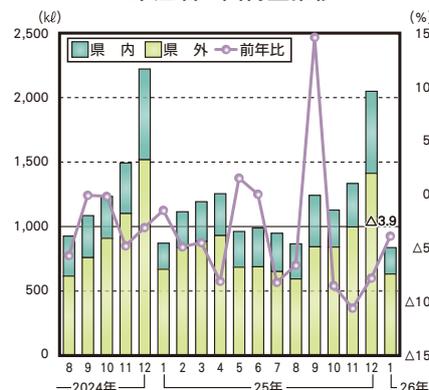


## 酒造業

### 出荷量、前年割れ続く

1月の清酒出荷量は、昨年10月に一部メーカーで価格を引き上げた影響などから、前年比3.9%減となった。4か月連続で前年を下回ったものの、減少幅は前月に比べ縮小した。出荷先別では、県内向けは同1.6%増、県外向けは同5.5%減となった。県外の主な出荷先別では、東京は同31.3%増、北海道も同30.9%増となった一方で、東北5県が同0.6%減となったほか、その他も同35.6%減と前年を大幅に下回った。種類別では、普通酒は同5.7%減、特定名称酒は同2.4%減となった。特定名称酒の内訳では、吟醸酒が同0.2%減、純米酒は同4.7%減、本醸造酒も同7.3%減となった。

県産酒の出荷量推移



資料：秋田県酒造組合

## 建設業

### 公共工事 市町村が減少し前年を下回る

1月の公共工事請負金額は、市町村が減少し、総体では前年比61.5%減と2か月ぶりに前年を下回った。4月からの年度累計実績は前年同期比12.6%増となった。

一方、当研究所調査による地元大手12社の1月の新規受注額は、前年比36.8%減の692百万円となり3か月連続で前年を下回った。うち官公庁工事は、大口工事がなく、同82.5%減と前年を下回った。民間工事は、小売業の店舗新築の大口工事があったものの、同6.1%減と前年を下回った。4月からの年度累計実績は、前年同期比43.2%増となった。

公共工事前払金保証実績

(単位：件、百万円、%)

区分	1月	前年比	4～1月	前年同期比
件数	35	△12.5	1,986	△4.4
請負金額	814	△61.5	170,087	12.6

資料：東日本建設業保証㈱秋田支店

地元大手企業12社受注額

(単位：百万円、%)

区分	1月	前年比	4～1月	前年同期比
官公庁	77	△82.5	25,441	85.1
民間	615	△6.1	4,072	△40.7
合計	692	△36.8	29,513	43.2

(当研究所調べ、県内12社)

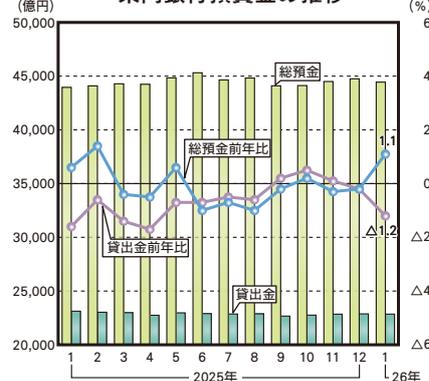
## 金融

### 貸出金、2か月連続で前年比減少

1月末の県内銀行の預金は、前月末比306億円減少したものの、前年比では1.1%の増加となった。貸出金は、前月末比21億円減少し、前年比でも1.2%の減少となった。預金は3か月ぶりに増加した一方で、貸出金は2か月連続で前年を下回った。

1月の倒産件数（負債総額1千万円以上）は6件（前年比4件減）、負債総額は7億9,400万円（同34.9%減）となった。倒産件数、負債総額とも、前年比では10か月ぶりに減少したものの、前月比では増加した。

県内銀行預貸金の推移



資料：秋田県銀行協会

## 住宅着工

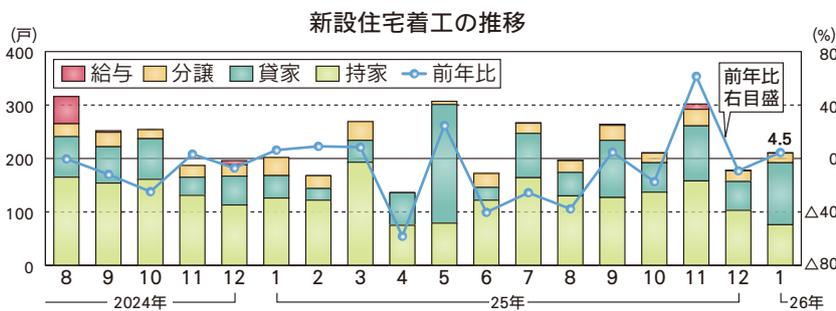
着工戸数、2か月ぶりに前年比増加

1月の県内新設住宅着工戸数は、211戸（前年比9戸増、4.5%増）であった。主力である持家に加え、分譲住宅も減少したものの、貸家が大幅に増加したため、2か月ぶりに前年を上回った。

利用関係別では、持家が76戸（前年比50戸減）、貸家が116戸（同74戸増）、分譲住宅が18戸（同16戸減）、給与住宅が1戸（同1戸増）となった。

持家は、2か月連続で前年を下回った。貸家は、秋田市と由利地域で大幅に増加したほか、横手市でも増加し、前年を上回った。分譲住宅は、2か月連続で前年を下回った。

地域別では、県北と県南は持家と貸家の着工が減少したほか、県南は分譲住宅の着工も減少し、ともに前年を下回った。県央は、貸家の着工が増加し、前年を上回った。



資料：秋田県建築住宅課

### 住宅着工動向

(単位：戸、%)

区分	2026年1月	前年比	25年1~12月	前年比
県北	14	△51.7	405	△30.3
県央	166	48.2	1,736	△3.7
県南	31	△49.2	533	△15.9
合計	211	4.5	2,674	△11.4

資料：秋田県建築住宅課

## 個人消費

全体として緩やかに回復している

12月の小売店（商業動態統計主要6業態）販売額は、前年比3.0%増となり、10か月連続で前年を上回った。

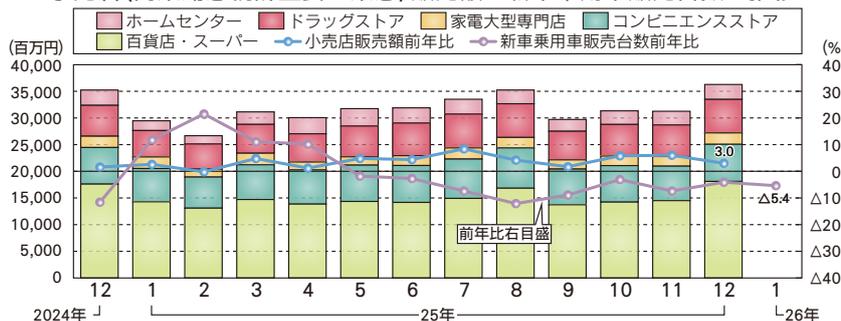
内訳をみると、ホームセンター（前年比2.3%減）は前年を下回ったものの、ドラッグストア（同8.5%増）、百貨店・スーパー（同2.8%増）、コンビニエンスストア（同1.4%増）、家電大型専門店（同1.3%増）で

前年を上回った。

1月の新車乗用車販売台数は、新型モデル車等の市場投入が少なかったことなどから、前年比5.4%減と9か月連続で前年を下回った。

内訳をみると、軽乗用車は同3.0%増と2か月ぶりに前年を上回ったものの、登録車が同12.3%減と9か月連続で前年を下回った。

### 小売店（商業動態統計主要6業態）販売額・新車乗用車販売台数の推移



資料：経済産業省、秋田県自動車販売店協会

### 1月の新車乗用車販売台数 (単位：台、%)

区分	販売台数	前年比
新車乗用車総販売台数	2,031	△5.4
登録車	1,030	△12.3
普通車	591	△15.0
小型車	417	△5.2
輸入車	22	△45.0
軽乗用車	1,001	3.0

資料：秋田県自動車販売店協会

### 県内個人消費関連指標 (前年比) (単位：%)

区分	2025年10月	11月	12月
①消費者物価指数	2.8	2.8	1.5
②勤労者名目賃金	2.0	2.1	5.4

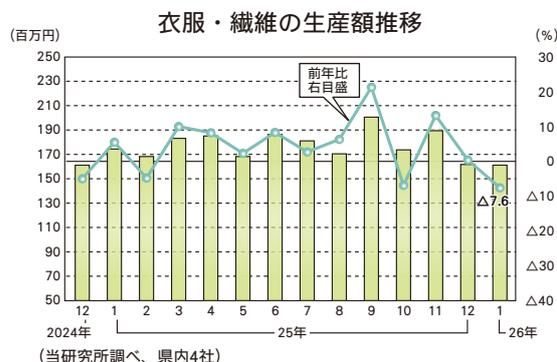
資料：①秋田県（総合指数、秋田市）  
②秋田県（事業所規模5人以上）

衣服・繊維

生産額、3か月ぶりに前年比減少

1月の生産額は、重衣料の減少や一部ラインの休止などから、前年比7.6%減と3か月ぶりに前年を下回った。

受注は、業界の端境期の影響などから、3か月ぶりに前年を下回った。3月末の最低賃金引上げに向けて、工賃への価格転嫁は一部で進展がみられた。



雇用

弱い動き

1月の有効求人倍率(季調値)は、前月比0.03ポイント上昇の1.23倍となった。常用の内訳では、一般は同0.04ポイント低下の1.41倍、パートは同0.10ポイント上昇の0.92倍となった。

新規求人数は前年比10.2%増となり、2か月連続で前年を上回った。産業別にみると、製造業は同0.5%増となった。「電気機械器具」「木材・木製品」などで減少したものの、「食料品」「繊維」で一部企業の受注増にともない増加した。非製造業は同11.3%増となった。「生活関連サービス、娯楽」「宿泊、飲食サービス」などで減少した

ものの、「建設」で慢性的な人手不足や従業員の高齢化などにより増加したほか、「公務」で会計年度任用職員の更新時期にあたり複数の地方公共団体から求人が増加した。

新規求職者数は前年比7.5%増となり、2か月連続で前年を上回った。

事業主都合離職者数は前年比11.4%減となり、4か月連続で前年を下回った。

地域別雇用状況(パートを含む常用)をみると、新規求人数は県北、県央、県南でいずれも増加した。有効求人倍率は県北が最も高く1.45倍、県央が1.19倍、県南が1.08倍となった。

業種別・新規求人内訳および新規求職者数(全数)

区 分		2025年12月	前年比	26年1月	前年比
新	規 求 人 計	6,532	3.3	8,626	10.2
	製 造 業	807	6.3	778	0.5
主 要 業 種 の 内 訳	食 料 品	102	△9.7	152	27.7
	織 維	168	19.1	91	13.8
	木 材・木 製 品	62	47.6	27	△12.9
	金 属 製 品	71	△9.0	63	△8.7
	電 子 部 品・電 子 回 路	100	35.1	89	△5.3
	電 気 機 械 器 具	39	△38.1	49	△15.5
	非 製 造 業	5,725	2.9	7,848	11.3
	建 設	1,055	0.2	935	4.4
	運 輸 , 郵 便	312	19.1	367	△3.2
	卸 売 , 小 売	710	4.4	968	△0.4
宿 泊 , 飲 食 サービス	369	△4.4	703	△4.9	
生 活 関 連 サービス , 娯 楽	159	7.4	252	△26.3	
教 育 , 学 習 支 援	113	29.9	138	25.5	
医 療 , 福 祉	1,353	△2.2	1,580	△2.1	
サ ー ビ ス	916	10.8	1,004	△1.7	
新 規 求 職 者 数		3,465	0.7	4,481	7.5
有 効 求 職 者 数		14,788	1.6	15,568	4.3

資料：秋田労働局職業安定課  
(注) 臨時・季節を含む

有効求人倍率および事業主都合離職者数

区 分		2025年10月	11月	12月	26年1月
有 効 求 人 倍 率	常 一 般	1.40	1.41	1.45	1.41
	パ ー ト 時 間	0.85	0.85	0.82	0.92
	全 数 (季 調 値)	1.20	1.20	1.20	1.23
事 業 主 合 適 離 職 者 数		168	100	294	217
前 年 比		△12.5	△22.5	△12.0	△11.4

1月の地域別雇用状況(パートを含む常用)

区 分	新規求人数		有効求人倍率	
	前年比		前月比	
県 北	1,996	20.5	1.45	0.10
県 央	4,060	7.7	1.19	△0.02
県 南	1,820	16.7	1.08	0.03
合 計	7,876	12.8	1.21	0.01

(注) 臨時・季節を除く